

平成29年4月14日
水管理・国土保全局下水道部

下水道 BIM/CIM 導入モデル事業の開始

～下水道 BIM/CIM の活用により、業務の効率化を図ります～

国土交通省は、i-Gesuido^{※1}の一環として、下水道施設の建設工事と改築工事における下水道 BIM/CIM^{※2}導入モデル事業を平成29年度から開始します。

下水道 BIM/CIM は、図面を3次元化し「情報の見える化」を図ることで、現場の安全性・施工性向上が期待されており、モデル事業によりその効果検証を行います。

※1 i-Gesuido とは、ICT の活用による下水道事業の質・効率性の向上や情報の見える化を行い、下水道事業の「持続」と「進化」を実践する新たな取組。

※2 BIM/CIM (Building/Construction Information Modeling/Management) とは、社会資本の計画・調査・設計段階から施工、維持管理に至る一連のサイクルにおいて3次元モデルを導入活用し、業務の効率化・高度化を図るもの。

<モデル事業の概要>

モデル事業は、平成29年2月2日に公告した企画競争業務に応募した者のうち、企画競争業務の評価基準に基づき、最適と判断した提案により、以下の通り実施します。

1. 下水道 BIM/CIM を導入する建設工事(新增設)モデル事業

(1)実施主体:日本下水道事業団・株式会社 NJS 共同提案体

(2)対象工事:

- ①段畑雨水ポンプ場(京都府福知山市) 土木・建築工事(新設)
- ②鶴見川クリーンセンター(東京都町田市) 機械・電気設備工事(増設)

2. 下水道 BIM/CIM を導入する機械・電気改築工事モデル事業

(1)実施主体:日本下水道事業団・日本水工設計株式会社共同提案体

(2)対象工事:

- ・浄化センター(山形県寒河江市) 機械・電気設備工事(改築)

<効果検証項目>

各工程において、3次元モデルの導入有無による下記項目の比較を行い、下水道 BIM/CIM の効果を定量的に把握します。

- (1)発注図書作成工程 : 人員数、時間、手順、品質
- (2)入札・契約工程 : 人員数、時間、計画の高精度化、品質
- (3)現地踏査工程 : 人員数、時間、品質、コスト
- (4)施工計画策定工程 : 人員数、時間

<問い合わせ先>

水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 事業マネジメント推進室

課長補佐 安永 英治、再構築係長 野杵 貴博

TEL : 03-5253-8111 [内線 : 34243、34234] 03-5253-8431(直通) FAX : 03-5253-1597